



## 情報の利活用における「扉」と「場」としての図書館

附属総合情報センター 企画開発室  
助教 山崎 尚二郎

巻頭言執筆のお話を頂き、改めて図書館について考える中で、図書館の「扉」と「場」の2つの役割に思い至りました。ここではこれらのキーワードを基に思い出を交えながら私心を述べさせて頂こうと思います。

第1の「扉」としての図書館について思い返せば、私が小学生の頃、図書館はまさに未知への扉でした。新たな知識や物語と出会うという体験は冒険にも似ており、毎週のように通ったことを思い出します。大学の図書館にはレポートや試験前を筆頭に、専門書の閲覧および時間と場所を気にせず文献にアクセスできる大学図書館のオンラインコンテンツには本当に助けられたものです。この電子的な扉を私は何気なく利用してきましたが、これまでの巻頭言にもあるように、若き日の先生方が文献検索にどれ程苦労したのか拝見すると、もっと感謝しながら使うべきでした。

第2の「場」については、コロナ禍を機にさらに進んだ社会の情報化を考えると、知識を集めるという目的だけであれば、場所としての図書館は不要なのではないかとすら思っています。その一方で、個人的な思いで恐縮ですが、「場」としての図書館も私にとっては大事なものです。私が中高生の頃、図書館は本を読むだけでなく、友人と勉強する場所でもありました。互いの苦手な部分を教え合い、行き帰りには他愛のない話をする、図書館はそんな特別ではなく、だからこそかけがえない思い出のできる「場」でもあります。また、現在24時間開放されている本学の図書館には、集まって勉強する学生が数多く見かけられ、オンラインコ

ンテンツやビデオ会議などが使える今でも、あえて顔を合わせる場所が求められているように感じます。

また、「三人寄れば文殊の知恵」とも言うように、情報の利活用の面でも人が集う「場」の一面は重要となるように思います。以前読んだ地域コミュニティに関する書籍に曰く、古今東西「境界」となる場所はコミュニティの中心的役割を果たしており、例えば、異なる共同体の境界となる場所には市場が作られ、新たな知識との境界である大学は多彩な人が交流する場所となるなど、境界となる場所は人が集い、文化やイノベーションが開花する場となってきたそうです。さて、図書館も新しい知識との境界となる場があります。図書館は未知への「扉」であるがゆえに、情報と人が集まり新たな知見やイノベーションが生まれる土壌となっていく、というのは私の臆見目が過ぎるでしょうか。

情報化社会の進展とともに、研究・学習において情報の利活用が必須となっています。そのためにシステムはもちろんですが、そのシステムをフル活用するための活用方法、利用ルールといった利用者の情報リテラシーもまた重要となります。企画開発室の一員として、ネットワークを含むシステム開発と、講義などを通じたリテラシー向上、その両面で皆さんの研究・学習における情報利活用に貢献していきたいと思っております。



## Change 1 : 図書館利用電子申請

図書館利用電子申請が始まりました。(学内者先行)

これまで用紙に記入してもらっていた図書館利用申請が、電子で行えるようになりました。QRコードを読み込んで、必要事項を入力するだけで申請が行えます。申請後翌々開館日までにIDカードが発行されますので、カウンターへ取りにお越しください。

【カウンター対応時間 [ 平日 ] 9 : 00 ~ 20 : 00 ( 短縮開館時は17 : 00まで )】

( 卒業生・元教職員用申請、学外者用申請も、近日中に電子申請を行えるようになる予定です。いましばらくお待ちください。)



## Change 2 : アクリルパーテーション



長らく図書館内に設置していたアクリルパーテーションを、撤去しました。2階アクティブラーニングエリアは、机や椅子、ホワイトボードなど自由に移動し、使用することができます。ディスカッションやグループ学習の際など便利になったかと思っておりますので、ご利用ください。なお、飲食物の持ち込みは引き続きご遠慮いただいております。(ネジ蓋付飲料のみ可)。お食事などは、ラウンジでお願いいたします。

## Change 3 : 図書館環境整備用品

2階カウンター前のソファや、3階および4階のキャレルデスクに設置しているキャスター付き椅子が、新しいものへと入れ替わりました。

ソファおよびキャスター付き椅子の一部は、札幌医科大学後援会様よりご寄贈いただいたものになります。

どちらも座り心地の良いものを選びましたので、ぜひ一度、座ってお試しください。



▲後援会寄贈の椅子およびソファ

## Change 4 : 館内レイアウト



▲新しい語学コーナー

2階アクティブラーニングエリアの一部書架の移動や、資料の所在変更などを行い、机や椅子が移動できるスペースが広くなりました。詳細はフロアマップをご確認ください。

このほか、日中も利用できるようになった「貸出かご」の各階への設置や、電源が近くにない席でも給電できるように延長コードの貸出(手続き不要)も始めました。周りの迷惑にならない範囲でのお願いとなりますが、館内レイアウトのカスタムをお楽しみいただけます。



▲フロアマップ

この春、図書館が少しずつ変わっています！

より便利で、より快適なサービスや空間を提供できるように準備をして皆様のご利用をお待ちしております。

講義の合間に、休憩時間に、集中したいときに、ご利用ください！

附属総合情報センター(図書館)が  
**mini** リニューアル ✨

here!

読みたい論文をあきらめない！

# 文献複写サービスのご紹介



## 文献複写サービスとは…？

本学で所蔵していない雑誌論文、または  
図書の一部を他大学等から取り寄せる  
サービスです。

ILL (InterLibrary Loan) とも呼ばれて  
います。

・学内者のほか、卒業生・元教職員、学外者（道内  
医療従事者）の方も使えます。

・プラスサービスを選択することで、より広い取り  
寄せ範囲を設定することが可能です。標準サービス  
では取り寄せできない論文がありましたら、ご検討  
ください。

## Step1

### 所蔵調査を行う

#### サービスを申込み前に下記を確認する

- ・ 札医大で利用できない文献か？  
→ 論文は電子、冊子体と様々な資料形  
態で図書館に所蔵されています！
- ・ WEBでフリー公開されていないか？  
→ 最近はフリーで公開されている論文  
が増えてきています！

所蔵調査マニュアル  
はこちらから



## Step3

### 複写物を受け取る

図書館から到着メールが届くので、**図  
書館カウンター**に受け取りに行く。

- ・ 支払い方法と金額を確認  
→ 申込時に支払い方法を選択できま  
す。私費を選んだときは、到着メール  
に記載の金額を用意してください。
- ・ カウンターに受け取りに行く  
→ 平日 9:00~20:00  
(特別開館時：平日 9:00~17:00)

## Step2

### 申込をする

#### ログインして申込をする

- ・ 文献データベースの検索結果から申込み **オススメ!**  
→ PIRKA、PubMed、医中誌Webなどの検  
索結果から申込みすることで、申込に必要な項  
目が自動入力されます。(詳しくはマニ  
ュアルをご覧ください)
- ・ マイライブラリ画面から直接申込み  
→ 申込に必要な項目を自分で入力します。

複写申込マニュアルは  
はこちらから



#### 文献複写取寄方法一覧

複写種別	カラー	モノクロ		
支払区分	私費	科研費	公費	
送付方法	普通	速達		
依頼範囲	標準 サービス	プラス サービス	PPV	

依頼範囲と料金の詳細は  
はこちらから



本学では、  
国外論文の  
取寄に  
RapidILL という  
サービスを導入し  
ています。多くが  
24時間以内の到着  
で、料金も利用者  
負担がありません。  
RapidILLでの依  
頼を希望する場  
合は標準サービス  
をお選びください。

## 情報センターセキュリティ便り ～Emotet (エモテット) って何?～

近年、より手口が巧妙化するサイバー攻撃の中でも、情報の窃取や更なる感染を目的とした攻撃に悪用されるマルウェアの一つが、「Emotet (エモテット)」と呼ばれるウイルスです。以下は代表的な手口や、対策方法です。

### ■Emotet の手口

Emotet は主にメールを用いて攻撃が行われます。実際にやりとりを行ったことのある相手の氏名やメールアドレス等を使用して、あたかも本人が送信したかのように見えるメールが送られてきます。メールにはマクロを仕込んだ Excel ファイルや、それを圧縮した zip ファイルが添付されており、ファイルを開きマクロを有効化するとウイルスに感染してしまいます。添付ファイルではなく、本文に URL リンクを記載しているケースもあります。



感染してしまうと、保管しているデータが窃取されたり、自身のメールアドレスを利用して、Emotet を含む大量のメールが勝手に送られてしまいます。

### ■Emotet 感染対策

- ・身に覚えのないメールや、知り合いから送信されたメールのように見えたとしても、不審な添付ファイルや URL リンクは絶対に開かない
  - ・OS やセキュリティソフトを最新の状態にする
  - ・安易にファイルのマクロを有効化しない
  - ・もしファイルを開いてしまった際はすぐに情報推進室まで連絡する
- 情報セキュリティに関するお問い合わせは下記連絡先までご相談ください。



総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: [iccci@sapmed.ac.jp](mailto:iccci@sapmed.ac.jp)

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	<a href="mailto:libserv@sapmed.ac.jp">libserv@sapmed.ac.jp</a>	利用サービス (カウンター)
文献複写依頼に関すること	24250	<a href="mailto:illr@sapmed.ac.jp">illr@sapmed.ac.jp</a>	利用サービス (カウンター)
図書・雑誌に関すること	24230	<a href="mailto:book@sapmed.ac.jp">book@sapmed.ac.jp</a>	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	<a href="mailto:satuisi@sapmed.ac.jp">satuisi@sapmed.ac.jp</a>	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関すること	22390	<a href="mailto:iccci@sapmed.ac.jp">iccci@sapmed.ac.jp</a>	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	<a href="mailto:libserv@sapmed.ac.jp">libserv@sapmed.ac.jp</a>	利用サービス

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111 (代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)  
<https://hamanasu.sapmed.ac.jp/library/>